NXPowerLite™
ファイルサーバーエディション

データ圧縮ソフト
エヌエックス・パワーライト
導入事例

OCEANBRIDGE
つかえるITを、世界から。

株式会社カイジョー 様

「削除できない高画質の写真データが10年以上前から蓄積し、管理ツールの導入を決めました。NXPowerLiteで軽量化した方がストレージコストを抑えられ、画質の劣化も認められなかったので、併せて導入を決めました」

株式会社カイジョー　管理本部 副本部長 村田真二氏、同本部 情報システム部 吉田和徳氏、同部 松本和之氏

＜株式会社カイジョーについて＞

半導体・LED 等の精密電子部品のボンディング（結合）装置および超音波洗浄装置の開発メーカー。1948 年創業、2012 年より澁谷工業株式会社（東証・名証Ⅰ部上場）のグループ会社。従業員約 160 名（製造部門含まず）。本社東京都羽村市。製造子会社を長野県松本市に、販売・サービス子会社を東京・バンコク・上海・台北・カリフォルニアに持つ。

株式会社カイジョーでは、2014 年、ファイルサーバーのディスク容量逼迫に対応するため、ファイルサーバー管理ツールと併せて、NXPowerLite ファイルサーバーエディションを導入しました。NXPowerLite の導入を決めた経緯を、管理本部 副本部長 村田真二氏（写真左）、同本部 情報システム部 吉田和徳氏（中央左）、同部 松本和之氏（中央右）に伺いました。

写真右端：オーシャンブリッジ営業部 半田

5 年持たせるつもりだったファイルサーバーの空き容量が、わずか 2 年で逼迫し始めた

— カイジョーでは、NXPowerLite ファイルサーバーエディションをどのような目的で導入しましたか。

当社では、ファイルサーバーの空き容量が急激に逼迫してきた問題に対応するため、NXPowerLite ファイルサーバーエディションを導入しました。

— 現在のファイルサーバーのディスク容量を教えてください。

3TB です。3 年前にファイルサーバーをリプレイスした時、旧ファイルサーバーのディスク使用量は 1.5TB を少し上回る程度でした。過去の増加ペースから判断して、新ファイルサーバーの容量は 3TB も確保すれば、耐用年数の 5 年は十分持つと判断していました。

— いつ頃からディスク容量の逼迫が問題になり始めましたか。

1 年ほど前からです。5 年持たせるつもりだった 3TB のディスクが、わずか 2 年で残り 300GB 程度という状態になりました。

"3TB のディスクが残り 300GB 程度という状態になっていました"

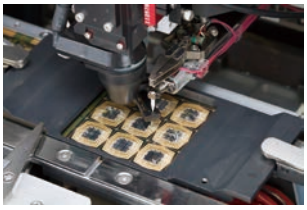
— なぜ、予想を超える早さでディスク容量が逼迫し始めたのですか。

原因は主に 2 つありました。1 つは「画像を中心に、ファイル 1 つ 1 つのサイズがここ数年で急激に大きくなった」ことです。もう 1 つは、「10 年以上前から蓄積し続けている古いファイルの整理が、思うように進まなかった」ことです。

これらの原因によってただでさえディスク容量が逼迫していたところに、今年に入って、製造子会社で使っていた容量約 500GB のファイルサーバーを、保守切れを機に本社のファイルサーバーに統合する話が持ち上がりました。これにより、ディスク容量の確保はいよいよ急務になりました。

仕上がりの美しさが強みの製品だから、開発にも営業にも高画質の写真が求められる

— 順々に伺います。「画像を中心に、ファイル 1 つ 1 つのサイズがここ数年で急激に大きくなった」とのことですが、主にどのような画像ですか。



半導体のアセンブリ（組立）に使用されるカイジョー製ワイヤボンダ

特に多いのは、製品の開発過程で検証・評価のために撮影される写真と、営業資料として使われる写真です。社内マニュアルにも、多くの写真が使われます。

ファイル形式は JPEG が中心です。営業資料の場合、Excel に貼られている画像も多数あります。Excel にはある程度縮小した画像が貼られるのですが、写真が多く圧縮率が低いため重たくなっている Excel ファイルが増えていました。

当社が開発・販売しているのは、精密部品を直径数十μm のワイヤで結合する装置や、精密部品に付着したナノレベルの超微粒子除去などに使用される装置です。結合・洗浄の仕上がりの美しさは、当社の製品の優位性の一つです。このため、評価・検証用にも、営業用にも、高画質の写真を大量に撮影する必要あります。

ここ数年はカメラの画素数が飛躍的に上がり、もともと増え続けていた画像ファイルが、さらに速いペースでディスク容量を消費するようになっていました。

削除の可否を誰も判断できないファイルが、10 年以上前から累積していた

— 「10 年以上前から蓄積し続けている古いファイルの整理が、思うように進まなかった」とは。

サイズの大きな画像ファイルが増え続けるのと同じぐらい問題だったのが、使わなくなった古いファイルを削除できずにいることでした。2000 年頃に作られたファイルが、使われることもないままファイルサーバーを占有していました。

各事業部のシステム管理者に、使わなくなったファイルは整理するように要請し続けていたのですが、整理は思うように進みませんでした。

" 古いファイルの整理を各事業部のシステム管理者に要請しても、なかなか整理が進みませんでした "

— なぜ、使わなくなったファイルの整理が思うように進まなかったのですか。

削除してよいか、誰も判断できなくなっているファイルが多かったからです。特に共有領域には、作成者がわからなくなっているファイルが多数ありました。作成者不明のファイルについて「今後使うことはないので削除してよい」という判断を下すことは

難しく、古いファイルはなかなか減りませんでした。

— ディスク容量を増やすことは検討しましたか。

今回はディスク容量を増やすよりも、ツールの導入によりデータを整理・軽量化する方向で検討を進めました。データの増加ペースに手を付けないまま、ディスク容量の追加で対応し続けるのは、不経済と判断しました。

バックアップ時間の確保も、データの増大で難しくなっていました。この点からも、ファイルサーバー上のデータの整理・軽量化は必須でした。

管理ツールだけでは解決にならない

— ファイルサーバーの空き容量を確保するためのツールとして、どのような製品を検討しましたか。

最初に検討したのは、ファイルサーバー管理ツール（以下「管理ツール」）です。重複ファイルを排除したり、古い使っていないファイルを抽出したり、ショートカットを残してファイル本体をアーカイブ領域に移動したりできる製品です。ちょうど使わなくなった古いサーバーがあったので、この古いサーバーをアーカイブ領域として活用すれば、使われていないファイルを退避させることで、現役ファイルサーバーの空き領域をかなり確保できることが見込めました。

ですので、管理ツールを導入することは比較的早い段階で決まりました。

ただ、使われていない古いファイルをアーカイブ領域に退避させても、それだけでは解決にならないという思いがありました。

— なぜ、古いファイルをアーカイブ領域に退避させただけでは解決にならないのですか。

管理ツールを使って古いファイルを退避させることで、当面空き領域を確保できたとしても、高画素の画像ファイルがこれまで通りのペースで増え続け、ファイルサイズが変わらないままアーカイブ領域にたまっていけば、早晩アーカイブ領域の容量も逼迫します。

何かよい解決方法はないか、取引のある IT インフラベンダーに相談したところ、NXPowerLite を紹介されました。ちょうど展示会で NXPowerLite のデモがあるとのことだったので、実際に見に行ってきました。

NXPowerLite のデモを見た翌月には導入を決定

— 展示会で NXPowerLite のデモを見た印象はいかがでしたか。

使えそうなツールだと思いました。高画素の画像ファイルが増えてディスク容量が逼迫している当社のニーズに合っていましたし、NXPowerLite で軽量化された画像を見ても、軽量化前の画像と見分けがつきませんでした。

そこでデスクトップエディションの体験版で軽量化率と画質の確認を、ファイルサーバーエディションの体験版で使い勝手の確認を、それぞれ行いました。

" 費用対効果を検証し、NXPowerLite の導入を決めました "

— 体験版ではどのような点をチェックしましたか。

チェックポイント 1.「軽量化率と画質のバランス」

実際に営業資料に使われている画像を NXPowerLite で軽量化し、「ファイルサイズをどれぐらい減らせるか」「許容範囲以上に画質が劣化しないか」をチェックしました。ファイルサイズを 5 分の 1 に削減しても、我々の目には画質の劣化がほとんど認められませんでした。

チェックポイント 2.「使い勝手」

使い勝手もチェックしました。使いにくさを感じることも、操作に迷うことも特にありませんでした。また、他の管理ツールは現場依存になるため、効果が不明瞭でしたが、NXPowerLite はスケジューリングで自動で軽量化ができるため現場にも管理側にも、負担にならずに、確実に効果があることが目に見えていました。

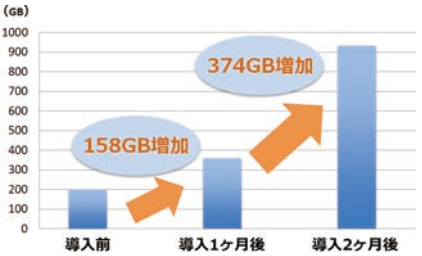
チェックポイント 3.「費用対効果」

費用対効果が適正かもチェックしました。NXPowerLite の導入費用は、我々が導入を検討していた 2 つの管理ツールの価格差に収まる程度でした。比較的安価な方の管理ツールにも、我々に必要な機能はすべて揃っていました。高価な管理ツールを導入して、「ファイルの重複排除」と「アーカイブ領域への退避」しかできないよりも、安価で機能的に遜色ない管理ツールを導入し、差額で NXPowerLite も導入して「ファイル自体の軽量化」もできるようにした方が、同じ予算ではるかに多くの空き領域を確保できます。軽量化によって今後節約できるストレージ費用を考えれば、NXPowerLite の費用対効果は十分適正と判断できました。

以上の検証を踏まえ、展示会でデモを見た翌月には、管理ツールと併せて NXPowerLite ファイルサーバーエディションを導入することを決めました。

NXPowerLite 実行前後におけるサーバー空き容量

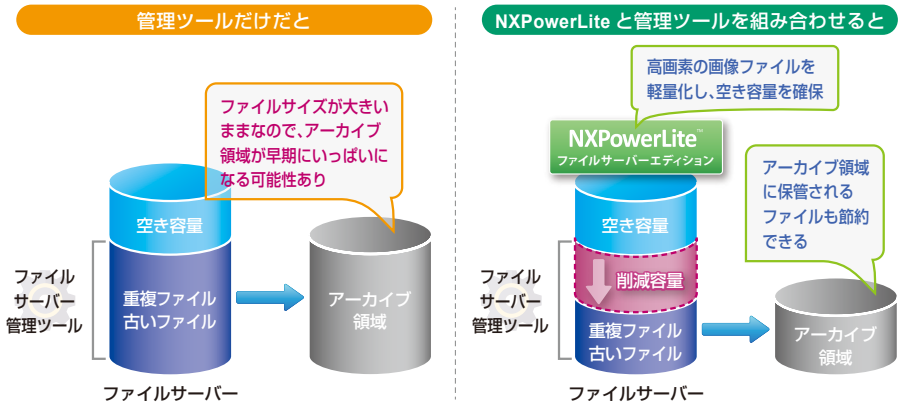
軽量化直前にはファイルサーバーの空き容量がわずか 200GB だった。軽量化を定期的に実施することによりサーバー容量を確保し、アーカイブ領域も節約できている。



— 最後に、同じ課題を抱える企業の方に、何かアドバイスがあればお願いします。

今はどの企業でも、画像ファイルの累積・高画素化によるディスク容量の逼迫が問題になっていることと思います。一度 NXPowerLite の体験版をインストールして、ファイルサイズの軽量化効果や画質を確認するのが一番かと思います。

カイジョーにおける NXPowerLite と管理ツールの使い分け



Microsoft Office ファイル・JPEG・PDF ファイルを最大 98% も軽量化！
NXPowerLite 体験版 無料ダウンロード https://www.nxpowerlite.jp

OCEANBRIDGE つかえるITを、世界から。
NXPowerLite国内総販売代理店
株式会社オーシャンブリッジ
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F
Web：https://www.oceanbridge.jp/
Email：sales@oceanbridge.jp
TEL：03-6809-0967（営業部）

● NXPowerLiteはNeuxpower Solutions Ltd.の登録商標です。
● その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは

この印刷物の内容は、2014年11月時点のものです。